

## 医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻の教育理念・目標

災害医学や被ばく医療学，放射線国際医療保健学，放射線保健看護学への強い関心と意欲を持ち，協調性とリーダーシップを有し，災害時における調整力やコミュニケーション能力の研鑽を積もうとする高い志を有する人材の育成を目的とする。

- ・ 自ら調べ自ら考える能力と習慣を有すること（知識・理解，態度・指向性）
- ・ 専門分野でのコミュニケーション能力を有すること（技能・表現，知識・理解）
- ・ 災害・被ばく医療学分野への強い関心と意欲があること（態度・指向性）

この教育目標を達成すべく，以下に挙げる3つのポリシーに基づいた修士課程教育を行います。

## 医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

- ・ 災害・被ばく医療学における基礎的知識を修得している。
- ・ 医科学コースでは災害医療学や被ばく医療学，放射線国際医療保健学，保健看護学コースでは被ばく医療学，放射線保健看護学に関連する学際的知識を修得している。
- ・ 協調性やリーダーシップを発揮し，国内外の災害現場における問題把握，対策の立案や実施をすることができる。
- ・ 災害時のクライシスコミュニケーション（災害発生時における情報伝達と共有）とリスクコミュニケーション（災害発生前後における情報共有と対話）を主導することができる。
- ・ グローバルな視点を持ち，地域社会および国際社会に貢献できる能力を身につけている。

と認められた者に対し，医科学コースにあつては修士(医科学)，保健看護学コースにあつては修士(看護学)の学位を授与します。

## 医科学コースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 基礎科目で、災害・被ばく医療科学の基盤となる放射線医科学，リスクコミュニケーション学，災害医学に関連する科目群を学びます。  
学修の到達度は，主にレポートやプレゼンテーション，ディスカッションにより評価します。
- ・ 専門科目で，災害・被ばく医療科学に関連する専門的知識を修得するための科目群を学びます。放射線災害を含む災害の発災前から復興期にわたる長期的な課題に対応する実践力を育成するための知識・技術を学びます。  
学修の到達度は，主にレポートやプレゼンテーション，ディスカッションにより評価します。
- ・ 専門実習で，福島県立医科大学，長崎大学川内村復興推進拠点における実習を通じて，修得した専門知識を活用し，災害・被ばく医療の専門家として実践，教育できる力を養います。保健看護学コースとの共修により，他職種との連携・協働を学びます。  
学修の到達度は主に実習内容およびそれに関するディスカッション，レポートを通じて評価します。
- ・ 課題研究で，それまでに修得した知識と実習による実践能力を基盤として，学位論文の作成に向けた研究を行います。  
評価は研究のプロセスにおけるディスカッション，プレゼンテーション，提出された論文により行います。

科目に関する別表（医科学コース）

科目等		基礎科目	専門科目	専門実習	課題研究
主として養われる資質	基礎的知識 ・理解	研究方法特論 リスクコミュニケーション学 基礎放射線医科学 災害看護学概論 救急医学概論 災害医学概論 日本における被ばく医療科学の発展 被ばく影響学Ⅰ 被ばく影響学Ⅱ 放射線防護学Ⅰ 放射線防護学Ⅱ 緊急被ばく医療概論Ⅰ 緊急被ばく医療概論Ⅱ メンタルヘルス概論 リスクアセスメント概論 疫学			
	専門的知識 ・技術		社会医学特論 国際保健学特論 災害こころの医学 災害医学特論 リスク管理学特論 国際プロジェクト管理学 保健医療社会学特論 シミュレーション医療教育学 災害地域ヘルスプロモーション学 救急医学特論Ⅰ 救急医学特論Ⅱ 地域医療学		

連携・協働			長崎大川内村実習 長崎大原爆被爆者 医療実習 長崎大放射線看護 学実習 福島医大救急医学 実習 福島医大放射線災 害医療実習	
科学的態度				課題研究

## 保健看護学コースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 基礎科目で、災害・被ばく医療科学の基盤となる放射線医科学，リスクコミュニケーション学，災害医学に関連する科目群を学びます。  
学修の到達度は主にレポートやプレゼンテーション，ディスカッションにより評価します。
- ・ 専門科目で，看護学の学問基盤および災害・放射線看護学に関連する専門的知識を修得するための科目群を学びます。放射線被ばくによる健康問題に対して保健医療，行政，国際機関などの分野での実践力を育成するための知識・技術を学びます。  
学修の到達度は，主にレポートやプレゼンテーション，ディスカッションにより評価します。
- ・ 専門実習で，福島県立医科大学，長崎大学川内村復興推進拠点における実習を通じて，修得した専門知識を活用し，放射線看護の高度専門家・実践家として力を養います。医科学コースとの共修により，他職種との連携・協働を学びます。  
学修の到達度は主に実習内容およびそれに関するディスカッション，レポートを通じて評価します。
- ・ 課題研究で，それまでに修得した知識と実習による実践能力を基盤として，学位論文の作成に向けた研究を行います。  
評価は研究のプロセスにおけるディスカッション，プレゼンテーション，提出された論文により行います。

科目に関する別表（保健看護学コース）

科目等 資質等		基礎科目	専門科目	専門実習	課題研究
主として養われる資質	基礎的知識 ・理解	研究方法特論 リスクコミュニケーション学 基礎放射線医科学 災害看護学概論 救急医学概論 災害医学概論 日本における被ばく医療科学の発展  被ばく影響学Ⅰ 被ばく影響学Ⅱ 放射線防護学Ⅰ 放射線防護学Ⅱ  緊急被ばく医療概論Ⅰ 緊急被ばく医療概論Ⅱ メンタルヘルス概論 リスクアセスメント概論 疫学			
	専門的知識 ・技術		放射線看護学 災害公衆衛生看護学 臨床放射線看護学 放射線ヘルスプロモーション看護学 国際被ばく公衆衛生看護学 国際プロジェクト管理学 保健医療社会学特論 看護倫理 看護理論 看護教育論 看護管理学特論 コンサルテーション特論 国際保健学特論		

連携・協働			長崎大川内村実習 長崎大原爆被爆者 医療実習 長崎大放射線看護 学実習 福島医大救急医学 実習 福島医大放射線災 害医療実習	
科学的態度				課題研究



## 医歯薬学総合研究科 修士課程 災害・被ばく医療科学共同専攻のアドミッション・ポリシー

災害・被ばく医療科学共同専攻は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 災害医学や被ばく医療学，放射線国際医療保健学，放射線保健看護学への強い関心と意欲がある。

小論文（英語）試験により災害・被ばく医療学の基礎的知識や論理性，語学力を評価する。

- ・ 国際的・学際的視野から災害・被ばく医療における実践，教育・研究に貢献しうる資質と意欲を有する。

小論文（英語）試験，書類審査，面接試験により評価する。

- ・ 専門職業人として協調性とリーダーシップで災害・被ばく医療に貢献しうる資質と意欲を有する。

書類審査，面接試験により評価する。

- ・ 災害時における調整力やコミュニケーション能力の研鑽を積もうとする高い志を有する。

書類審査，面接試験により評価する。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

入試区分		求める資質等	基礎学力	関心と意欲、協調性とリーダーシップ、調整力・コミュニケーション能力、自ら調べ、自ら考える能力と習慣	英語能力
一般入試 社会人入試	小論文		◎		
	書類審査		○	○	
	面接		○	◎	
	外国語（英語） ※保健看護学コースのみ				◎
外国人留学生入試	面接		○	◎	◎
	書類審査		◎	○	○